



西村証券

チーフストラテジスト
門司総一郎の

ウィークリーレポート

2023年
11月10日
発行

第 196 回

「来年の米大統領選を考える」

～流れではバイデン氏優勢に～

初めに

来年は米国で大統領選挙が行われます。言うまでもなく、世界で最も重要な選挙です。今回は、来年11月5日の決戦まで1年を切ったこの選挙についてコメントします。

米大統領選と私

前回の米大統領選では現職のトランプ氏の再選を見込む方が多かったと思いますが、実際には大方の予想を裏切り、民主党候補のバイデン氏が勝利しました。私はちょうど西村証券に入社したばかりだったことを覚えています。バイデン勝利を的中させたことは、当時の私にとって良いアピールになったのではないかと自負しています。

勝ち抜くのは誰？

共和党候補はトランプ前大統領が有力とされています。フロリダ州知事のデサンティス氏や主要候補のうち唯一女性の元国連大使ヘイリー氏などが続いています。いずれも彼に大きく水をあけられている状況です。トランプ氏は複数の刑事事件で起訴され民事訴訟も抱えながらも意に介さず、MAGA(Make Amerika Great Again)をスローガンに候補者選びの先頭を走っています。対する民主党では、バイデン氏の選出が確実とされています。無所属ではジョン・F・ケネディ元大統領の甥、ロバート・ケネディ Jr氏が立候補を表明しました。

また、経済界からは前回の大統領選に引き続き、JPモルガンのCEOで、以前当レポートでも紹介したジェームズ・ダイモン氏の出馬が噂されました。「アメリカの良心」と称されるダイモン氏は見識の高い方であり、その経営手腕は高く、また、東日本大震災の際に多くの外国人経営者が日本から退去する中、いち早く来日し、日本は大丈夫だと世界にアピールしてくれました。今回は出馬されないようですが、次回2028年の大統領選には是非出馬して欲しいと期待しています。

バイデン氏的外交政策

幾多の候補者が名乗りを上げていますが、前回と同じくバイデン氏vsトランプ氏の戦いになるとの見方が多いようです。バイデン氏的外交政策の成功例としては、サウジアラビア皇太子と原油増産の交渉にこぎつけたことです。現在はイスラエル・パレスチナ紛争で進展していない模様ですが、紛争が落ち着けば原油の増産が期待できると思います。また、対中国では、来週サンフランシスコで開催されるAPECで習近平国家主席と首脳会談を予定し、対中強硬路線の緩和を図るなどとしています。中国経済が勢いをなくしているこの場面での首脳会談は、バイデン氏にポイントになると思います。そんな中、ウクライナ戦争は膠着状態が続き、中東の紛争も解決の糸口が見えない状況です。

(裏面へ続く)



チーフストラテジスト
門司さんにきいてみよう!



西村証券株式会社 NISHIMURA SECURITIES Co., Ltd.
京都市下京区四条通高倉西入立売西町65番地(本社)
TEL:075-221-9390(本店営業部)

金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第26号
加入協会:日本証券業協会 主な事業:金融商品取引業
指定紛争解決機関:特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター

本書面は特定の金融商品の勧誘を目的として作成したのではなく、あくまで情報提供を目的とした書類です。書面上の株式市場見通し等は、本書面作成時の当社予想ですが、その後の市場動向・結果・影響等について当社が保証または責任を負うものではありません。また内容については予告なしに変更される場合もあります。本書面の著作権は当社に帰属します。当社の文章による承諾なしに、第三者への配布・コピー等はご遠慮ください。

内政では民主党がリード

一方、国内では、問題となっていた学資ローンの免除など負担軽減に向けて様々な措置を講じています。人工妊娠中絶問題では、中絶の権利擁護の声の高まりが民主党の追い風になっています。また、経済では金融機関の破綻やインフレが問題となりましたが、最近では落ち着いてきたようです。ここまでバイデン氏の大統領としての実績を見てきましたが、自分は合格点と思っています。来年の大統領選では、相手が誰でもバイデン氏勝利の可能性が高いと私は見えています。



チーフストラテジスト
門司さんにきいてみよう!

